

「信教の自由を覚える集い」

主催：日本福音キリスト教会連合・関東三地区信教の自由を覚える集い実行委員会

「急速に変貌するこの国と世界で」

— キリスト者の戦前の軌跡から学べること —

石浜みかる氏からのメッセージ

2015年わたしたちは、進路を見失っていないでしょうか。明治維新後の日本は西欧の植民地にはならないと「富国強兵」を国家目標として国際社会へデビューしました。社会のあらゆる階層の人々が熱く奮い立って、国策に協力しました。しかし「自衛のため」という路線はやがて、西欧の帝国主義列強と伍していくのだという野望にむしばまれていき、アジアを踏み台とする路線へと足を踏み入れました。

1945年8月の敗戦により、海外領土をすべて放棄しました。アジアと日本の民間人と戦闘員に膨大な戦死者をだして、江戸時代のサイズにもどったのです。GHQによって帝国陸海軍が1945年11月に解体されたあと、新憲法が生まれ、日本人は大日本帝国の「臣民」から日本の「国民」へと生まれ変わりました。軍隊を持たないと宣言し、「平和主義」「国民主権」「基本的人権の尊重」の3本柱を道しるべとして高くかかげました。

しかしいま、70年が経ちかけがえのないわたしたちの国のかたちが、急速に変えられようとしています。昨年7月1日、集団的自衛権行使容認が「閣議決定」されました。関連法制は息もつかせぬ勢いで整備されています。あらゆるからめ手を使って外堀を埋め、国民を憲法改正に追い込んでいくでしょう。

1945年まで、本土と植民地や満州国にいたキリスト者たちはどのように生きていたのでしょうか。この路線の延長線上に待つのはどのような未来でしょうか。いまこそ、歴史に深く学ぶ時—— 冷静に奮い立つことが大事です。

共に考え、祈りましょう！



★日時

2015年

2月11日(水)

午前 10:30～午後 3:00

講師：石浜みかる氏

1941年 神戸で誕生。父は、石浜義則牧師は、戦時中、神社不敬罪と治安維持法違反で2回投獄され、広島で服役中被爆。高校時代に受洗

1960年 神戸女学院英文学部入学(65年卒業)

1963年 在学中に1年間イスラエル留学

1979年 米国アリゾナ州生活1年3ヶ月
専門学校非常勤講師、翻訳、執筆などで現在に至る。

*主な著書

「あの戦争のなかにぼくもいた」(国土社)1992年

「シャローム・イスラエル」(オリオン出版)1964年

「ひかり輝く季節に」(国土社)1985年

「カリフォルニアの素敵な学校」(新潮社)1982年

「エルムの鐘 満州キリスト教開拓村をかえりみて」

榎本和子著 石浜みかる監修 暮しの手帳社編集 2004年

「紅葉の影に ある牧師の戦時下の軌跡」

(日本キリスト教団出版局)1999年

★会場：キリスト教朝顔教会

03-3321-6722

【プログラム】

★10:30～12:00 主題講演(席上献金があります)

★12:00～13:00 昼食 各自持参してください。

※当日、お弁当注文もできます。

★13:00～14:30 分科会

①講師を囲んで : 加藤嘉成師

②国家と教会の基本的な学び(みことばから)

: 須田 毅師

③靖国入門 : 栗原喜義師

④JECA 社会委員会秘密保護法関連見解文について

: 軍地和広師

★お問い合わせ先 045-364-7311

横浜さちが丘キリスト教会(神谷)

